



乳幼児教育・保育推進事業 通信
～令和6年度 乳幼児教育・保育協働研修～



令和6年11月12日(火) 第9回研修会(保幼こ小連携分野)を開催しました。

33名の先生方と一緒に学び合いました。(保育所(園)3名・幼稚園5名・認定こども園8名
小学校17名)

公開授業

宇治市立南部小学校

指導者 河邊 真由美 先生

教科「単元(教材)」 生活「あきとなかよし」





公開授業中の環境や教師の関わり等で、心に残ったことを1つ記載してください。

(参加できなかった仲間に知らせたいこと)を教えてください。

子どもたちが自分で考えたり、発言したりしやすい言葉かけ

環境・素材を集める過程から子どもたちと行っていること

温かい言葉かけは真似したい

子どもたちの「やってみたい!!」「おもしろそう!!」と思わせる教具(材料)の準備のすばらしさ

教師の温かい言葉かけで安心して活動している



児童が使用する材料の種類や量の多さ、下準備のすごさ、子どもに考えさせる声かけ。(前時までに必要なものをもれなく聞き取って用意されていたことに驚きました。)

完成したかどうかではなく、作っている子どもの様子をじっくり観察し、工夫している点や途中で改善したところなどを見つけて評価されているところがすばらしい

「どうやってやろう」という返しが多く、児童に考えさせる時間をたくさんつくっていた

できないことを教師が教えるのではなく、子どもたちを通して「できる方法」を仲介する役目をされていたこと

グループ協議



グループ協議中に、仲間の発言で心に残ったこと

(参加できなかった仲間に知らせたいこと)を教えてください。

自分でみつけたたった 1 つの宝物（自然物）を使って作る展開も良いのではないかとという新たな発想

生きる力（根っこの部分）を育ててほしいとおっしゃっていたこと

自分都合ではなく、余裕を持ち子どもに接したい

常に手に届くところにあることが発想や創造性を育む

小学校と保・幼・こでの違いをもっと話し寄り添うべきだ

子どもの思いを大切にする

子どもの思いを引き出す教師の言葉がけが主体性につながる

自由と放任は違うという言葉
また、安心できる空間づくりを幼児期にされていること

どんな活動をするにも安心できる空間であることが大前提。いろんな子どもがいる中で、友達同士で理解し合ったり、肯定的な声かけができることが大切



挑戦する力を積み重ね、達成感を感じることの大切さ

失敗しても良い環境、自分でどうしたいか、どうしたらいいかを考えさせてあげられる環境



個々に支援ではなくても、全体に投げかけたことで自分の失敗に気づき、修正して取り組めた子がいた

指導助言



講師の先生のお話の中で、心に残ったことを一つ記載してください。

(参加できなかった仲間に知らせたいこと)を教えてください。

本当に必要な言葉がけなのか、そこまで丁寧に伝える必要があるのか、子どもが考えて行動できる言葉がけを大切にしたい

子どもは安心して自己を発揮できない

みんなが幸せになるためにルールを考えられる人間を育てる

意欲を引き出す環境
保幼小で関わっていく環境づくりが大切



ルールを教え込むのではなく、子どもがよりよい方法を考えていくことが大切！

丁寧過ぎない指導→ていねいに指導しているつもりが本当は自分がスムーズにクラスを運営しているだけではないか。それが逆に子どもが考えるチャンスをうばっているのではないか。

これからの教育は自分で考えて判断すること、みんなで一緒に考えたり話し合ったりすることが大切

小学校に入学する前のことを知っておくべきだ



大人のためのルール付けをしていないか、子どものためのルールづくりを子ども自身で作る

子どもたちの意見をしっかり聞き、子どもたちで考えられるようにする

しっかり事前準備をしたり、子どもたちが喜んで参加することができる環境づくり

これからも見えない子どもの気持ちの部分を大切にしたい

子ども一人一人がしたいことに向かって試したり工夫したりする過程を大切に見とり認めていきたい

子どもたちからいっぱい発信できるような言葉かけをしたい

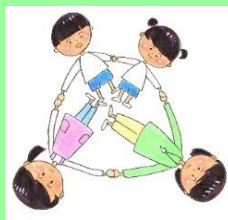
考えて判断して行動できる子に育てるため、たくさんの体験をさせたい

自分でできたという思いが大切である。子どもの意見を尊重し子どもにまかせられる環境作り。

小学校の先生も環境を大切に考え教育をされていた。その学びに向かう姿勢はとても素敵だと感じ、私たち保育者も引き続き環境を通して行う保育の大切さを伝えていきたい。環境を作っていきたい。

子どもが意欲を持ってできる、「やりたい」を大切にする活動、あそび、環境づくり

今日の学びを踏まえて
保育や授業で
活かしたいこと



画一的な授業だけでなく、個性を生かせる授業をしていきたい(小学校)

子どもの興味を大事にして計画を立てたい(小学校)

子どもに考えさせるための言葉かけについて考えていきたい(小学校)

主体性を引き出す言葉かけ子どもへの問いかけ(小学校)

なかなかできることではありませんが、下準備の大切さを改めて感じたので、出来る限りやっていきたいです。
(子どもがやりたい!と思ったことを実行できるような)(小学校)

準備や支援が大変でも挑戦する場面をつくりたい(小学校)

主体性を育むために肯定的な声かけをしたり、協同的な学びの場を設定したりしていきたい(小学校)

主体的を考え直し、子どもの思いを大切にする(小学校)